

鹿兒島県感染症情報

2010年 第33週報 (8月16日~8月22日)

発行：鹿兒島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

伝染性紅斑の報告数が増加しています。県内では、第23週頃より増加傾向を認めており、それ以降は、例年より多い報告数で推移しています。今後の動向に注意して予防対策に努めましょう。

★鹿兒島県における伝染性紅斑の発生動向と予防対策

2010年における伝染性紅斑は第23週頃より増加傾向にあり、特に、今週は今年最も多い39人（定点当たり報告数0.71）の報告がありました。今のところ、2005年の流行に次ぐ報告数の増加が認められているため（p3を参照）、今後の発生動向に十分な注意が必要です。伝染性紅斑は、小児に多く見られる流行性発疹性疾患で、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ（ほっぺ）病」と呼ばれることもあります。患者の年齢分布は、5～9歳での発生が最も多く、次いで1～4歳が多く、免疫を持っていない大人も感染する可能性があります。特に、妊娠中の感染は胎児に感染し、重大な合併症を引き起こす可能性があるため注意が必要です。原因となる病原体は、ヒトパルボウイルスB19で、10～20日の潜伏期を経て、頬に境界の鮮明な紅い発疹が現れます。その後、手足に網目状・レース状・環状などと表現される発疹がみられ、胸腹背部にもこの発疹が出現することがあります。また、この発疹は、手のひらや足の裏にはほとんど出現することなく、7～10日で消失しますが、数週間後、日光や運動、発熱、精神的なストレス等をきっかけに、再燃する場合があります。なお、発疹が現れたときには、ウイルスの排泄はほとんどなく、感染力はほぼ消失しています。発熱期や軽い風邪症状を呈する時（発疹出現前）が、いちばん感染力の強い時期であり、患者からの呼吸器系分泌物（唾液・痰・鼻汁）の飛沫感染により、ヒトからヒトへと広がります。予防対策としては、患者はもちろん、看護するヒトもこまめに手洗いをすることが大切です。また、患者が使用したカップ、道具を介して、ウイルスを自分の口や鼻の粘膜に運んで感染する場合もあるので、完治するまでの間は、患者専用のカップ等を使用することも大切です。

定点把握対象疾患では、感染性胃腸炎は増減の幅が小さい状況で推移しており、眼科定点からの流行性角結膜炎は前週と同数の報告がありました。また、流行性耳下腺炎は過去2年間の同時期より多い報告数で推移しています（p2～p3を参照）。ヘルパンギーナの報告数は、前週より若干数増加したものの、流行のピークは過ぎたと思われます。

☆一～五類感染症(全数報告疾病)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 10例（肺結核6例、結核性胸膜炎3例、肺結核及び結核性胸膜炎1例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	発生報告なし
五類感染症	麻しん 1例（検査診断例）

☆定点報告疾病の発生状況

・第33週の定点把握対象疾病の総報告数は529人で、第32週より19人多かった。また、定点当たりの報告数は、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎の順に多かった（詳細については後述）。

・**流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【伝染性紅斑（開始2.0、終息1.0）】：始良（3.00）

・**流行発生注意報**に該当する保健所はありませんでした。

（数値）は定点当たり報告数

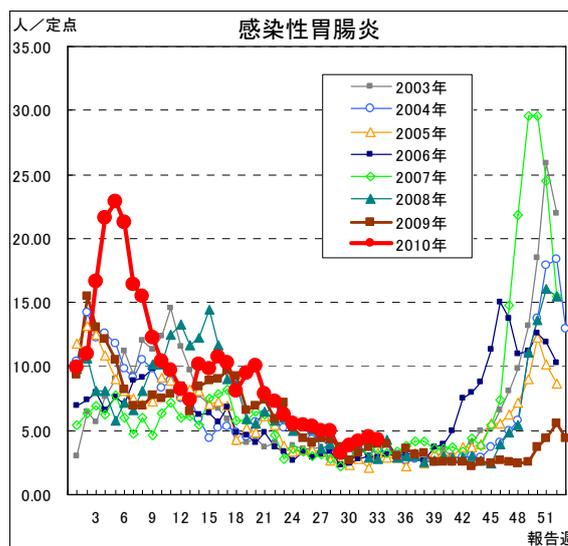
☆定点報告疾病（定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第33週の感染性胃腸炎の報告数は233人で、前週より17人少なく、定点当たりの報告数は4.24であった。前週まで3週連続で増加していたが、今週は減少に転じた。例年と同様に増減の幅は小さい状況が続いている。

年齢別では、10～14歳（32人）、1歳（26人）、3歳（24人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（10.00）、川薩保健所（7.25）、始良保健所（6.43）が多い。

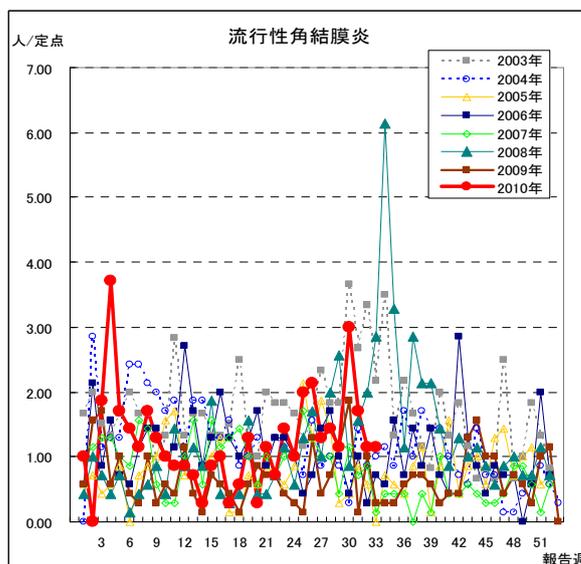


(2) 流行性角結膜炎

第33週の流行性角結膜炎の報告数は8人で、前週と同数（8人、定点当たりの報告数1.14）であった。しかし、2008年の33～35週にかけて急激な増加を認めていることや、2003年の同時期報告数も多い報告数が続いていることから、今後の動向には注意が必要である。

年齢別では、30～39歳（3人）、40～49歳（2人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（2.00）、鹿児島市保健所（1.25）、鹿屋保健所（1.00）からの報告であった。

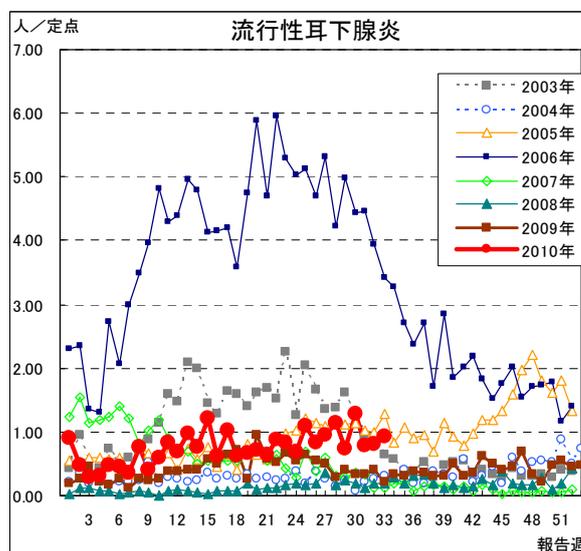


(3) 流行性耳下腺炎

第33週の流行性耳下腺炎の報告数は51人で、前週より7人多く、定点当たりの報告数は0.93であった。報告数は増減を繰り返しながら、例年より若干多い報告数で推移している。今後の動向に注意が必要である。

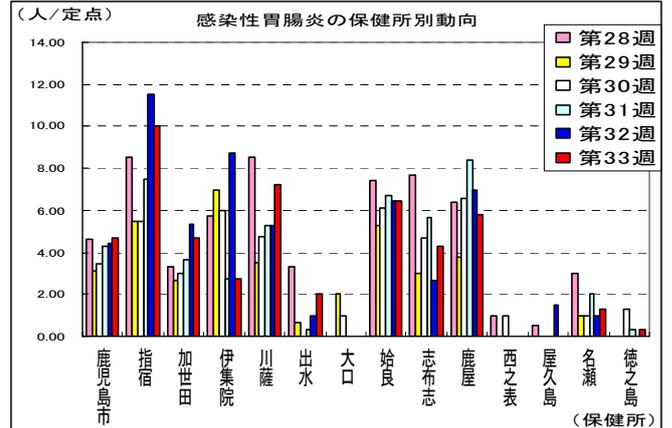
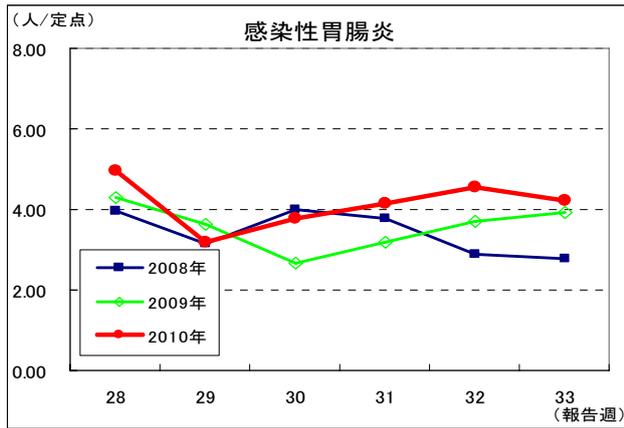
年齢別では、4歳（14人）、6歳（8人）、10～14歳（5人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（2.77）、鹿屋保健所（1.60）、指宿保健所（1.00）が多い。

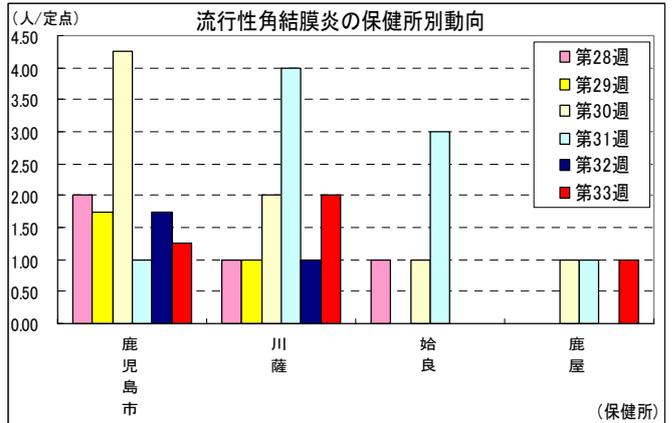
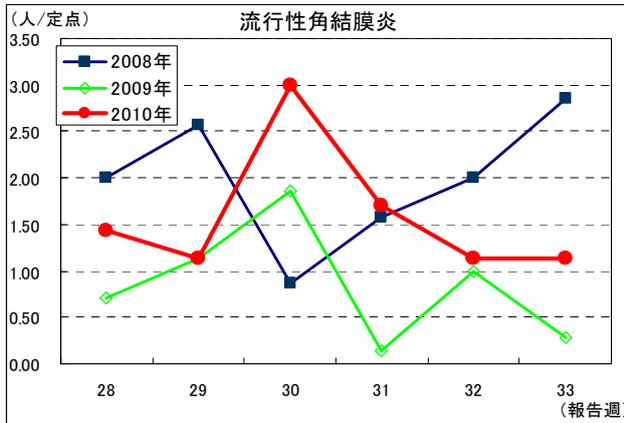


☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

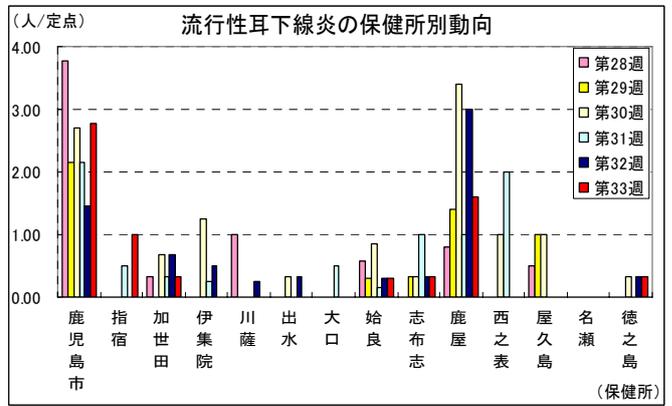
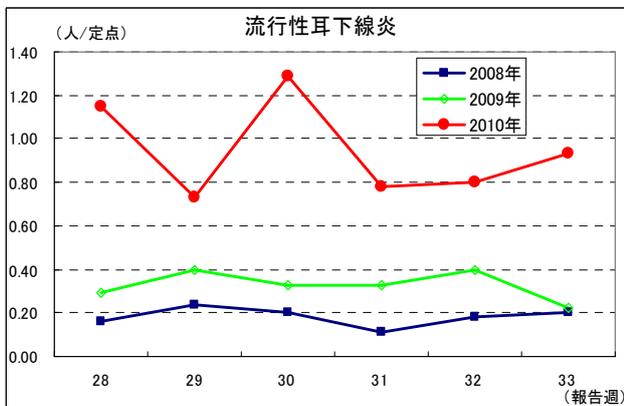
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) 流行性角結膜炎 (流行発生警報は開始基準値 8.0 以上)

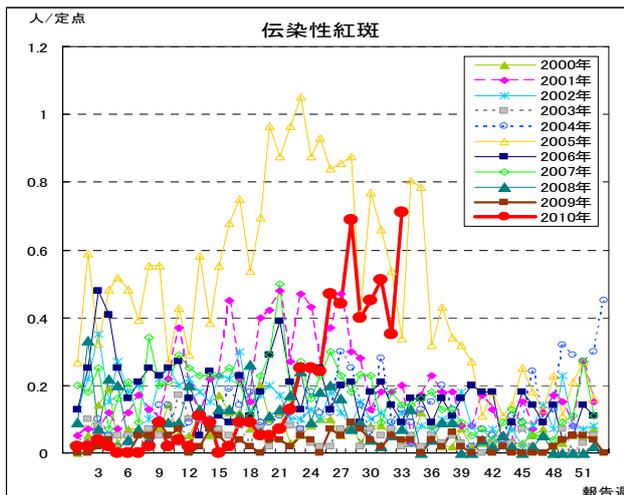


(3) 流行性耳下腺炎 (流行発生警報は開始基準値 6.0 以上)

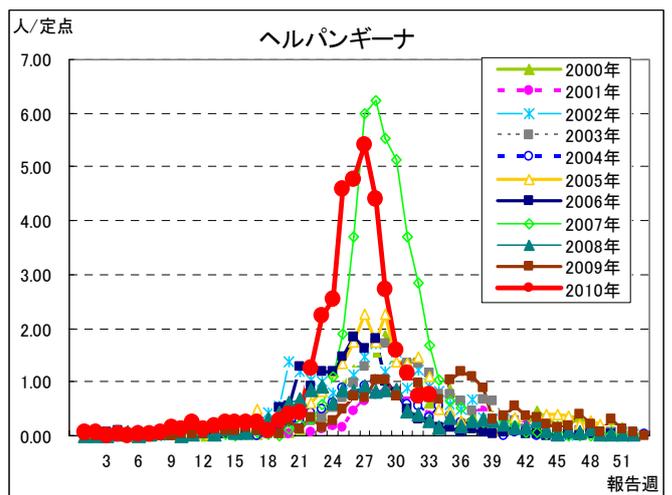


☆注目される感染症の発生状況

★伝染性紅斑の発生状況 (鹿児島県)



★ヘルパンギーナの発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報 告 週)	第 33週
-------	---------	-------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	0.00	6,161
小児科定点	○ RSウイルス感染症	23	0.42	1,061
	咽頭結膜熱	16	0.29	706
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.49	2,023
	感染性胃腸炎	233	4.24	17,562
	○ 水痘	40	0.73	4,593
	手足口病	18	0.33	2,689
	○ 伝染性紅斑	39	0.71	316
	○ 突発性発しん	31	0.56	950
	○ 百日咳	2	0.04	30
	○ ヘルパンギーナ	41	0.75	1,945
	○ 流行性耳下腺炎	51	0.93	1,361
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00	2
	流行性角結膜炎	8	1.14	288
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	2
	無菌性髄膜炎	-	0.00	4
	マイコプラズマ肺炎	-	0.00	44
	クラミジア肺炎	-	0.00	2
報 告 数 合 計		529		39,739

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2010年28週)	4週前 (2010年29週)	3週前 (2010年30週)	2週前 (2010年31週)	1週前 (2010年32週)	今週 (2010年33週)
インフルエンザ	報告数	1	1	3	-	-	-
	定点当り	0.01	0.01	0.03	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	10	17	10	20	18	23
	定点当り	0.18	0.31	0.18	0.36	0.33	0.42
咽頭結膜熱	報告数	20	17	11	15	19	16
	定点当り	0.36	0.31	0.20	0.27	0.35	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	30	27	38	26	27
	定点当り	0.85	0.55	0.49	0.69	0.47	0.49
感染性胃腸炎	報告数	272	176	208	228	250	233
	定点当り	4.95	3.20	3.78	4.15	4.55	4.24
水痘	報告数	60	46	47	45	31	40
	定点当り	1.09	0.84	0.85	0.82	0.56	0.73
手足口病	報告数	56	54	24	16	26	18
	定点当り	1.02	0.98	0.44	0.29	0.47	0.33
伝染性紅斑	報告数	38	22	25	28	19	39
	定点当り	0.69	0.40	0.45	0.51	0.35	0.71
突発性発しん	報告数	25	32	32	38	27	31
	定点当り	0.45	0.58	0.58	0.69	0.49	0.56
百日咳	報告数	1	-	-	1	-	2
	定点当り	0.02	-	-	0.02	-	0.04
ヘルパンギーナ	報告数	242	150	87	64	40	41
	定点当り	4.40	2.73	1.58	1.16	0.73	0.75
流行性耳下腺炎	報告数	63	40	71	43	44	51
	定点当り	1.15	0.73	1.29	0.78	0.80	0.93
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	10	8	21	12	8	8
	定点当り	1.43	1.14	3.00	1.71	1.14	1.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	1	-	-
	定点当り	-	-	-	0.08	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	1	-	-	1	-
	定点当り	-	0.08	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	2	1	-
	定点当り	-	-	-	0.17	0.08	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年33週(平成22年8月16日～平成22年8月22日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	23	0.42	16	0.29	27	0.49	233	4.24	40	0.73	18	0.33	39	0.71	31	0.56
鹿児島市	-	-	15	1.15	7	0.54	15	1.15	61	4.69	9	0.69	8	0.62	10	0.77	13	1.00
指宿	-	-	-	-	-	-	2	1.00	20	10.00	3	1.50	2	1.00	1	0.50	1	0.50
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	14	4.67	-	-	1	0.33	-	-	-	-
伊集院	-	-	6	1.50	1	0.25	1	0.25	11	2.75	2	0.50	1	0.25	4	1.00	-	-
川薩	-	-	2	0.50	3	0.75	1	0.25	29	7.25	6	1.50	-	-	1	0.25	6	1.50
出水	-	-	-	-	3	1.00	3	1.00	6	2.00	-	-	-	-	1	0.33	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	1	0.14	1	0.14	45	6.43	5	0.71	2	0.29	21	3.00	3	0.43
志布志	-	-	-	-	1	0.33	-	-	13	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	1	0.20	29	5.80	12	2.40	4	0.80	1	0.20	7	1.40
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2	0.04	41	0.75	51	0.93	0	0.00	8	1.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	-	-	9	0.69	36	2.77	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	3	1.50	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	4	1.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	7	1.75	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	1	0.14	3	0.43	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	1	0.20	5	1.00	8	1.60	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	1	0.33

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年33週(08月16日～08月22日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症	報告数	23	5	3	11	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.42	0.09	0.05	0.20	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	16	-	1	8	2	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.29	-	0.02	0.15	0.04	0.05	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	27	-	-	-	2	4	4	3	3	3	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.49	-	-	-	0.04	0.07	0.07	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数	233	2	17	26	18	24	15	22	17	14	13	13	32	4	16	-	-	-	-	-
	定点当り	4.24	0.04	0.31	0.47	0.33	0.44	0.27	0.40	0.31	0.25	0.24	0.24	0.58	0.07	0.29	-	-	-	-	-
水痘	報告数	40	1	3	11	6	8	4	3	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.73	0.02	0.05	0.20	0.11	0.15	0.07	0.05	0.02	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告数	18	-	2	6	7	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.33	-	0.04	0.11	0.13	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数	39	-	-	3	5	5	4	3	7	6	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.71	-	-	0.05	0.09	0.09	0.07	0.05	0.13	0.11	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告数	31	-	15	13	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.56	-	0.27	0.24	0.04	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	41	-	5	14	5	7	3	1	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.75	-	0.09	0.25	0.09	0.13	0.05	0.02	0.05	-	0.02	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	51	-	1	4	4	3	14	4	8	4	1	1	5	1	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.93	-	0.02	0.07	0.07	0.05	0.25	0.07	0.15	0.07	0.02	0.02	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	1	1	-	-
	定点当り	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.43	0.29	0.14	0.14	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-